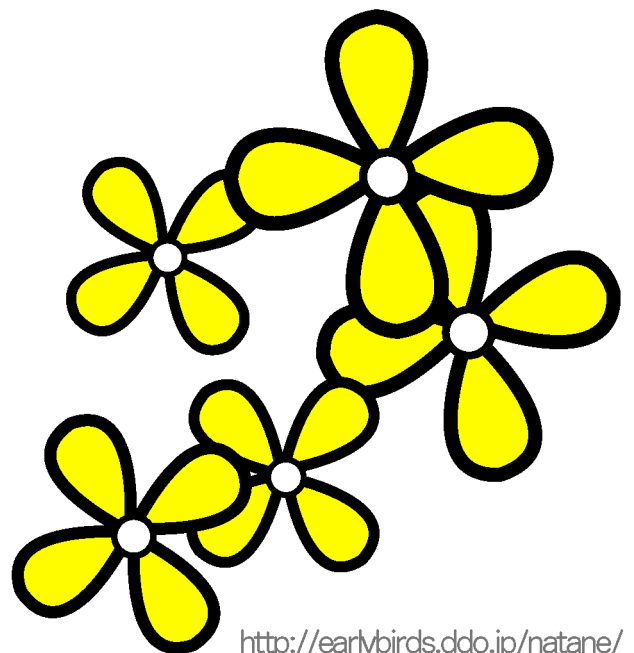


# 2008 遺伝子組換え ナタネ調査隊 GMCALS

農民連食品分析センター

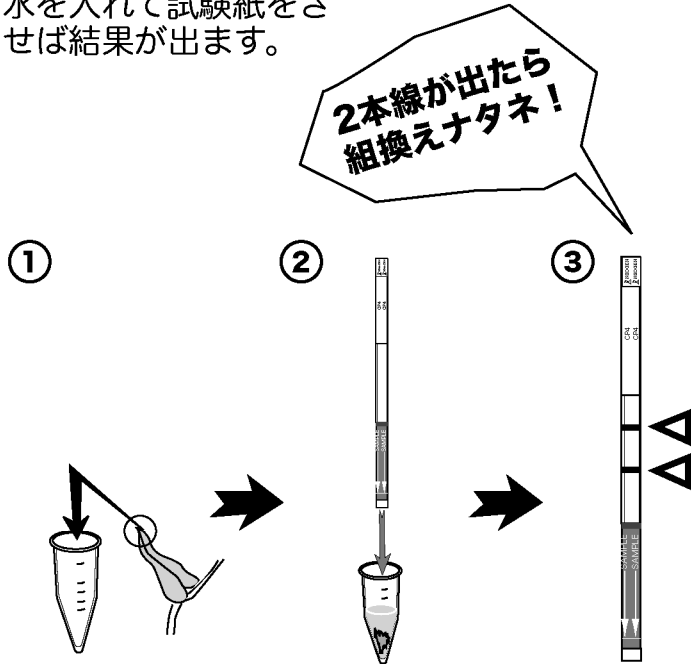
あなたの町で遺伝子組換えナタネが  
こっそり生えているかもしれません。  
一緒に調査をしませんか？



<http://earlybirds.ddo.jp/natane/>

## 調査の仕方

ナタネの葉をつぶして、  
水を入れて試験紙をさ  
せば結果が出ます。



## 参加申し込みの仕方

日本はたくさんナタネを輸入して  
います。そのナタネの多くが遺伝子組  
換えナタネです。特定の除草剤をかけ  
ても枯れないように遺伝子が組み換え  
られたナタネたちです。こうした種が、  
運搬途中でこぼれ落ち、いますこし  
づつ日本の自然界に入り込もうとして  
います。この現象を一緒に調査してみま  
せんか。

一回分の検査キットをお送りするの  
に1200円かります。

〒173-0025

東京都板橋区熊野町47-11  
農民連食品分析センター  
ナタネ調査隊

電話/FAX 03-3959-5660

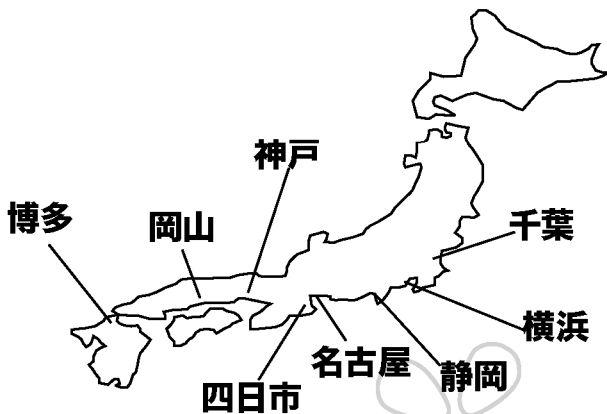
メール [natane@earlybirds.ddo.jp](mailto:natane@earlybirds.ddo.jp)

<http://earlybirds.ddo.jp/bunseki/>

## 2007年の調査結果

あちこちで196個体の  
ナタネを調査してみたら...

遺伝子組換えナタネが  
**87個体**見つかりました。



### 農民連食品分析センターについて

農民連食品分析センターは、1996年に多くの農業者や消費者の募金により設立された背景を持つ世界的にも珍しい分析施設です。

1996年、日本がWTO協定に加盟したことを受け、日本の農業者はとてもおどろきました。これによって農産物輸入が増加することやその検査が簡略化されることがわかったからです。そしてなにより消費者にそうした農作物が届くことについて強い不安と心配を感じていました。

不安といわれる輸入食品について、科学的で中立な立場でデータを集め伝えたい、また国産農産物の品質を確かめたい、そしてよりよい食生活を家族ともちたいと願う消費者に情報を発信していこうと、設立に取り組みました。小さな農家の組織からスタートしたこの運動は、多くの農業者や消費者に支えられて、世界でもまれな分析施設として一步を踏み出すことになりました。

設立以来、学校給食パンのポストハーベスト農薬問題、漢方薬の残留農薬問題、割り箸への漂白剤使用問題などを明らかにしてきました。1998年、中国産冷凍ほうれん草の残留農薬問題発見は食品衛生法改定のきっかけにつながりました。

私たちは、これからもずっと、農業と生活に密着した視点から情報を提供していきます。応援をお願いいたします。

ご住所  
〒

お名前

申込キット数



農民連  
食品分析センター

電話番号

email